

りんご品種「はるか」の栽培特性

【1 「はるか」の特性】

- (1) 本品種は岩手大学農学部において「ゴールドデリシャス」の自然交雑実生の中から育成、選抜され、平成14年に品種登録されています。
- (2) 果実の大きさは250～350g前後、果形は円錐、果皮色は黄色、サビの発生が多く、年により陽光面に赤く斑点状に着色します。
- (3) 糖度は17～20% (Brix%)、酸度は0.30～0.35g/100ml、みつが多く、果汁は中程度で甘みが強く食味が良好です。
- (4) 熟期は11月中旬で「ふじ」と同時期ですが、収穫時期を遅らせることでみつ入りを促進することができます。
- (5) 発芽期は「ふじ」より2日程度早く「王林」と同じ、満開期は「ふじ」より2日程度遅くなります。
- (6) 早期落果、後期落果は見られないものの、摘果剤（NAC水和剤）の使用は年により過剰落果する恐れがあるので、摘果剤の使用は控えます。
- (7) 果台長25mm以上の長果枝は青味果の発生割合が多くなるので、結実させないようにします。
- (8) 年によりビターピット症状が見られるため、カルシウムの葉面散布剤や土壌への施用に努めるとともに、多肥、強せん定に注意します。



みつ入りの状況



無袋果



有袋果

【2 留意事項】

- (1) S遺伝子はS2S9で、「ジョナゴールド」とは不和合性になるため、受粉条件に留意して植栽してください。
- (2) 有袋栽培にすることで外観が向上しますが、有袋果の見直し摘果は9月以降に実施すると小玉果の区別が付きやすくなります。
- (3) 摘果時期が遅れると小玉になりやすいので、摘果を遅れずに実施し、過着果にしないように注意してください。

【3 適応対象】

- (1) 適用地帯又は対象者等
農業改良普及センターなど指導機関
- (2) 期待する活用効果
品種特性を把握することで高品質安定生産が可能となります。